

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課 指導室

基本目標(1) 人を惹きつける学びあふれるまち ～地方への新しい人の流れをつくる～							
(ア)教育							
主な重要業績評価指標 (KPI)	学校満足度調査「学校は楽しい・どちらかといえば楽しい」と回答した児童生徒の割合						
	積算方法	年度末に行う学校評価における基礎資料となる児童生徒アンケートから積算					
	基準値	H29年度 目標値	H30年度 目標値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値
	89% (H30年度)				90%	90%	90%
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
				90%	90%		
	目標値の変更						
KPI達成のために 行った事業(取り組み)	学校評価アンケートは年2回実施され、1回目と2回目の結果を比較することができます。結果と普段の様子から、注意すべき児童・生徒を把握し、教育相談等を実施しながら、不満や心配をなくせるように対応しました。必要に応じて、カウンセラーやスクールソーシャルワーカーとも連携を行いました。						
事業の今後の課題や今後 必要と考える取り組み	引き続き満足度を高める取組と並行して、残り10%の不満とされた部分の対応が課題です。アンケート結果は調査を実施したすべての児童・生徒の結果が出るため、不満と回答した生徒に対しては普段の様子に気を付けながら、きめ細かいサポートをしていく必要があります。 年2回の実施で、1回目と2回目の結果を比較し、1年間を通してどの程度不満を取りのぞけたか、反対に不満となってしまった部分はないかを確認し満足度を上げていく必要があります。						
推進本部会議で出た意見等	(質)アンケートの対象は全児童か？ (答)小・中学校の全児童が対象です。タブレット内のアプリ「ロイロノート」で配布し、回答してもらっています。						
有識者会議での外部評価	(質)有効回答数ほどのくらいか？ (答)全児童5431人のうち5270人が回答しました。						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課 土木課

基本目標(1) 人を惹きつける学びあふれるまち ～地方への新しい人の流れをつくる～							
(イ) 観光・イベント							
主な重要業績評価指標 (KPI)	長井浜公園 年間施設利用者数						
	積算方法	年間施設利用者から算出					
	基準値	H29年度 目標値	H30年度 目標値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値
	新規				12,000人	14,000人	15,000人
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
					28,161人	39,041人	
	目標値の変更						
KPI達成のために 行った事業(取り組み)	マリンアクティビティは7月～9月の実施を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で8/9までの実施となりました。小物やアクセサリーの作成や販売を行うクラフトワークや、12月には「クリスマスナイトダイニング長井浜」というクリスマスマルシェを開催しました。また、長井浜沖を水上バイクの免許取得試験の場として提供しました。 その他にも3月にはケーキデコレーション教室、10～12月には音楽と食事を楽しむイベントを開催しました。定員を5倍上回る応募があり、急遽1日追加をしました。						
事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み	目標値は達成していますが、さらなる向上のため新規事業の実施等について指定管理者と協議していきます。						
推進本部会議で出た意見等	(質)利用者数はどのようにカウントしているのか？ (答)指定管理者が常駐し、カウントしています。						
有識者会議での外部評価	意見なし						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課 商業観光課

基本目標(1) 人を惹きつける学びあふれるまち ～地方への新しい人の流れをつくる～							
(イ)観光・イベント							
主な重要業績評価指標 (KPI)	サイクルステーションの設置数						
	積算方法	公共施設等へのサイクルステーションの新規の設置数					
	基準値	H29年度 目標値	H30年度 目標値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値
	新規				事業開始	5か所	0か所
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
						5か所	
	目標値の変更						
	KPI達成のために 行った事業(取り組み)	椿市地域交流センター、行橋赤レンガ館、守田蓑洲旧居、行橋総合公園、長井浜公園の5か所にサイクルステーションを設置しました。 ※ステーション設置内容(サイクルスタンド、空気入れ、工具、案内看板)					
事業の今後の課題や今後 必要と考える取り組み	公共施設にステーションを設置してきましたが、今後は県の補助事業等を活用し、民間施設への設置も促進する予定です。また、各設置場所の設備情報の公開や、市独自のサイクルマップを作成するなど周知にも力を入れる必要があると考えます。民間活用の際は目標値を変更する予定です。						
推進本部会議で出た意見等	なし						
有識者会議での外部評価	意見なし						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課 スポーツ振興課

基本目標(1) 人を惹きつける学びあふれるまち ～地方への新しい人の流れをつくる～							
(イ) 観光・イベント							
主な重要業績評価指標 (KPI)	ビーチスポーツ・マリンスポーツを通しての集客人数						
	積算方法	ビーチバレー集客者数(大会通じて) マラソン参加者数 マラソン沿道応援者数 マラソンボランティアスタッフ数					
	基準値	H29年度 目標値	H30年度 目標値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値
	7,874人 (R1年度)				10,000人	10,000人	7,000人
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
		7,763人	8,535人	7,874人	0人	0人	
	目標値の変更	令和4年度からは、ビーチバレーの開催を行わないため、ビーチバレーの集客見込数3000人を除いた7000人を目標値に設定します。					
	KPI達成のために 行った事業(取り組み)	ビーチバレー、マラソンともに新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。					
事業の今後の課題や今後 必要と考える取り組み	感染症対策をしっかりと行い開催します。						
推進本部会議で出た意見等	集客人数については、イベント開催時にカウントしています。						
有識者会議での外部評価	意見なし						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課 商業観光課

基本目標(1) 人を惹きつける学びあふれるまち ～地方への新しい人の流れをつくる～							
(イ)観光・イベント							
主な重要業績評価指標 (KPI)	市の観光PRポータルサイトのアクセス数						
	積算方法	観光ポータルサイトのアクセス解析ツールを利用し、アクセス数を集計					
	基準値	H29年度 目標値	H30年度 目標値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値
	252,000PV (H30年度)				400,000PV	380,000PV	380,000PV
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
		202,523PV	252,000PV	355,200PV	360,819PV	288,497PV	
	目標値の変更						
KPI達成のために 行った事業(取り組み)	従来は市内で開催されるイベントや観光情報等を掲載してきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響でイベントが中止、また人流も止まってしまったため、観光情報へのアクセス数は減少しました。補足として、特にアクセスが多かったページは4, 5月がマテホリ情報、6～10月が市内オートキャンプ場の情報、11月以降は牡蠣小屋、3月は桜に関する情報となっています。						
事業の今後の課題や今後 必要と考える取り組み	市ホームページのリニューアルにより、より魅力的なサイト構成を行います。イベントや観光情報の掲載頻度を増やしたり、掲載方法を工夫したり、効果的な運用を行っていく必要があります。						
推進本部会議で出た意見等	なし						
有識者会議での外部評価	意見なし						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課 総合政策課

基本目標(1) 人を惹きつける学びあふれるまち ～地方への新しい人の流れをつくる～							
(ウ)移住・定住							
主な重要業績評価指標 (KPI)	行橋市への移住者数(京築除く):累計195人(R2～R6)						
	積算方法	各年(4/1～3/31)の住民基本台帳ベースでの 転入数－転出					
	基準値	H29年度 目標値	H30年度 目標値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値
	39人 (H30年度)				39人	39人	39人
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
					▲191人	▲68人	
	目標値の変更						
KPI達成のために 行った事業(取り組み)	<p>【転入】 【転出】 (全) 2,694人 2,635人 (京築除く) 2,043人 2,111人</p> <p>年間を通して移住に関する具体的な取り組みは行えていません。年に数度、移住希望者から問い合わせ等がありましたが、その際にも紹介できる施策等がないため、その後の展開ができていません。これを受けて、移住支援金の令和4年度予算化の検討を行いました。実施している(していた)自治体からの意見等を聴取した結果、費用に見合う効果があまり感じられないとの意見が多くあり、令和4年度の予算化には至りませんでした。</p>						
事業の今後の課題や今後 必要と考える取り組み	<p>移住支援策が一つもない状況では外へアピールする機会があっても取り逃してしまうことが多くあると考えます。行橋市が他と比べて選ばれる自治体となるよう各所管課と協議をしながら、新しい施策の立案や実施に取り組んでいきたいと考えます。</p>						
推進本部会議で出た意見等	具体的な施策だけでなく、様々な場面で行橋市に対してよい印象を持っていただくことも選ばれる自治体になるうえで必要なことであると思います。						
有識者会議での外部評価	意見なし						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課 農林水産課

基本目標(1) 人を惹きつける学びあふれるまち ～地方への新しい人の流れをつくる～							
(工)農産物・水産物の開発・高付加価値化							
主な重要業績評価指標 (KPI)	新規就農者数						
	積算方法	行橋市農業次世代人材投資資金交付要綱に基づく農業次世代人材投資資金(経営開始型)を受給した者の数(積算累計値) 第5次行橋市総合計画の目標値ベースを採用					
	基準値	H29年度 目標値	H30年度 目標値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値
	11人 (H30年度)				累計14人	累計18人	累計18人
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
		累計9人	累計11人	累計13人	累計16人	累計16人 (新規0人)	
	目標値の変更						
KPI達成のために 行った事業(取り組み)	給付金に対する相談は計7件(市:6件、JA:1件)ありましたが、交付要件16件全てを満たす新規就農者はいませんでした。 また、担い手部会が主催となり開催される関係機構(県・各市町村・JA)と連携した就農相談会は新型コロナウイルス感染症の影響で開催できませんでしたが、市主催の「園芸作物栽培希望者説明会」はどちらも市報や市ホームページで周知した上で開催でき、開催後アンケートに回答のあった9割からは参考となった説明会だったとの意見が出されました。						
事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み	受給には、現状と目標(5年後)を定めた就農計画を提出し市からの認定を受ける必要があります。目標年に、年間農業所得300万程度(給付金を除く)、年間総労働時間2,000時間程度を認定基準としており、目標の達成及び資金交付終了後の就農のステップアップが難しいものとなっています。今後も就農計画の目標達成に向け、市・県・JA等のサポートを引き続き行っていきます。						
推進本部会議で出た意見等	なし						
有識者会議での外部評価	意見なし						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課 文化課

基本目標(1) 人を惹きつける学びあふれるまち ～地方への新しい人の流れをつくる～							
(オ)まちなか活性化							
主な重要業績評価指標 (KPI)	行橋公募彫刻展への応募件数及びイベント参加者数						
	積算方法	国際公募彫刻展に対する応募件数 イベント参加者数					
	基準値	H29年度 目標値	H30年度 目標値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値
	イベント参加者数 3,644人 (H30年度)				参加3,783人	参加1,400人	応募44件(R3実績値より確定) 参加3,100人
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
		応募31件 参加1,718人	参加3,644人	応募32件 参加1,235人	応募32件 参加442人	応募44件 イベント参加者796人	
	目標値の変更						
	KPI達成のために 行った事業(取り組み)	R3年度は本展ではないため、芸術に関するイベントを実施しました。 ・アートフォーラム(講演会):15人 ・アーティスト・イン・レジデンス(作家を招へいして作品をつくる):387人 ・行橋中学校2.3年生を対象としたボランティア活動:394人 新型コロナウイルス感染症の影響により、実施できないイベントもありました。					
事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み	国際公募彫刻展は令和4年度で終了しますが、この事業で完成した彫刻作品を活用する取組が必要だと考えています。また今後とも多くの市民が芸術作品に触れ、自らも参加できるような施策に取組んでいきたいと考えています。						
推進本部会議で出た意見等	なし						
有識者会議での外部評価	意見なし						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課 生涯学習課

基本目標(1) 人を惹きつける学びあふれるまち ～地方への新しい人の流れをつくる～							
(オ) まちなか活性化							
主な重要業績評価指標 (KPI)	図書館(複合施設)の利用客数						
	積算方法	来館者数					
	基準値	H29年度 目標値	H30年度 目標値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値
	利用者数 190,406人 (R2年度)				150,000人	来館者 200,000人 図書館貸出者 116,000人 託児施設利用者 3,000人	来館者 200,000人 図書館貸出者 116,000人 託児施設利用者 3,000人
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
		図書館 91,588人 視聴覚 15,394人	図書館 85,989人 視聴覚 14,598人	図書館 58,047人 視聴覚10, 020人	190,406人	来館者 179,854人 図書館貸出者 108,840人 託児施設利用者 2,683人	
	目標値の変更	リブリオに移転してからの図書館部分とそれ以外の利用者がわかるように目標を設定し、目標値については、令和2年度実績より設定しました。					
KPI達成のために 行った事業(取り組み)	令和3年度におきましても、コロナ禍のため臨時休館となることもありましたが、感染対策を行ったり、蔵書点検の前倒しを行うなど、開館日数の確保に努めました。また、子ども向けのスペシャルお話し会やリブリオ通信で「リブリオのご近所さん」を載せる等、地域の活性化にも寄与することができました。ただし、開館日数が結果的には昨年度を下回ったため、目標値を達成できませんでした。						
事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み	コロナ禍のため、学生が利用しやすい夏休みに臨時休館をする等したため、来館者及び図書館利用者は昨年度より減少しております。今後は、さらなる感染対策に考慮しながら、複合施設の利点を生かし、図書館以外にも魅力ある事業を行い、リブリオ来館者が増加するよう、指定管理者と連携をとっていきます。						
推進本部会議で出た意見等	(質) 来館者に対する利用できるスペースが少ないという意見もあるが、どうか？ (答) 現在利用している場所以外で、施設内の会議室やけやきホールを開放するなどして改善する予定はあります。						
有識者会議での外部評価	意見なし						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課 総合政策課

基本目標(1) 人を惹きつける学びあふれるまち ～地方への新しい人の流れをつくる～							
(カ)就労支援							
主な重要業績評価指標 (KPI)	ワーク・ライフ・バランスの啓発(セミナー回数・参加人数)						
	積算方法	セミナー回数・参加人数の累計値					
	基準値	H29年度 目標値	H30年度 目標値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値
	11回・278人 (H30年度)				累計17回 470人	累計16回 ・371人 (2回・20人)	累計16回 ・371人 (2回・20人)
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
		累計7回 185人	累計11 回 278人	累計13回 333人	累計14回 351人	累計14回・ 351人 (0回・0人)	
	目標値の変更						
	KPI達成のために 行った事業(取り組み)	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により、1度も開催することができませんでした。					
事業の今後の課題や今 後必要と考える取り組み	新型コロナウイルス感染症も徐々に落ち着きを取り戻してきているという認識で、今後開催できる機会が多くあると考えられます。講座等開催の際は、感染症対策に充分留意しながら、意義のある内容で開催したいと考えています。						
推進本部会議で出た意見等	なし						
有識者会議での外部評価	意見なし						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課 指導室

基本目標(2) 子ども育みを支えるまち ～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～							
(ア)教育							
主な重要業績評価指標 (KPI)	学校満足度調査「学校は安全に学べる環境であると思う・どちらかと言えばそう思う」と回答した保護者の割合						
	積算方法	年度末に行う学校評価における基礎資料となる保護者アンケート結果から積算					
	基準値	H29年度 目標値	H30年度 目標値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値
	88% (H30年度)				90%	90%	90%
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
		88%	88%	90%	90%	89%	
	目標値の変更						
KPI達成のために 行った事業(取り組み)	各児童が持つタブレット内のアプリ「ロイロノート」を活用して、保護者に対し、年間2回の「学校評価アンケート」を保護者を対象に実施しました。 令和2年度では、保護者への情報発信がもっとほしいという意見があったため、39メール(安全・安心メール)等を活用し、学校の様子を保護者に知らせる取組を行い、評価の向上に取り組みました。						
事業の今後の課題や今後 必要と考える取り組み	今回の結果の中できめ細やかな相談連絡体制づくりが必要という意見があったため、学校に対し、家庭訪問や電話連絡など、保護者との連携をさらに密にするように指導する必要があると考えます。						
推進本部会議で出た意見等	なし						
有識者会議での外部評価	生徒によっては、アンケートについて保護者に伝えない事もあると思うので、アンケート実施の際はメールなどで保護者に直接知らせしてほしい。 ロイロノートの使い方なども分かりづらく、利用しにくいように感じる。 →(答)紙媒体でアンケートをしている際は回答率も高かったため、現在のアプリを利用したアンケートの実施は、周知が不十分であると考えられます。今後は39メール等で通知するなど改善していきます。						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課 指導室

基本目標(2) 子ども育みを支えるまち ～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～							
(ア)教育							
主な重要業績評価指標 (KPI)	いじめ・不登校等の問題行動の予防プログラムの実践校						
	積算方法	市内17校中の実施校数					
	基準値	H29年度 目標値	H30年度 目標値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値
	8校 (H30年度)				10校	17校	17校
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
		5校	8校	10校	10校	17校	
	目標値の変更	いじめや不登校などの問題行動の予防・対処法を取り上げた研修は年度内で複数回行われており、積算の対象が増えました。					
KPI達成のために 行った事業(取り組み)	年2回の生徒指導担当者研修会を実施し、いじめの早期発見・早期対応が組織的に行われるように研修会を実施しました。また、Q-U調査の結果をもとに大学教授やスクールカウンセラーなどの専門家を招へいしての質疑応答形式での研修会を実施しました。						
事業の今後の課題や今後 必要と考える取り組み	教育委員会では、いじめ・問題行動に対する研修以外の多くの研修を実施しています。いじめ問題は、学級活動や道徳教育等とも関連するため、予防につながる活動の研修を充実させていきます。						
推進本部会議で出た意見等	なし						
有識者会議での外部評価	意見なし						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課 総合政策課

基本目標(2) 子ども育みを支えるまち ～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～							
(イ)結婚							
主な重要業績評価指標 (KPI)	出会いのイベント参加者						
	積算方法	出会いのイベント参加者の累計値					
	基準値	H29年度 目標値	H30年度 目標値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値
	5回・375人 (H30年度)				50人	100人	20人
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
		累計3回 256人	累計5回 375人	累計6回 431人	0人	0人	
	目標値の変更						
	KPI達成のために 行った事業(取り組み)	新型コロナウイルス感染症のため、イベントを実施できませんでした。 民間企業に対する補助金の予算は確保していましたが、感染症の影響もあり活用されませんでした。市民からは複数回イベント開催について問い合わせがありました。					
事業の今後の課題や今後 必要と考える取り組み	出会いイベント参加者のその後の状況について追うことが難しく、イベントの効果を図りにくいことが課題です。 県が各市町村と協力して行う結婚新生活支援事業で、イベントの共同開催があり、行橋市も参加を検討しています。イベントを通し、開催方法やその後の対応を参考にし今後のイベントを検討していきます。						
推進本部会議で出た意見等	なし						
有識者会議での外部評価	意見なし						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課 子ども支援課

基本目標(2) 子ども育みを支えるまち ～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～							
(ウ) 出産・子育て							
主な重要業績評価指標 (KPI)	3月1日時点での待機児童数						
	積算方法	各年度3月1日時点での待機児童数					
	基準値	H29年度 目標値	H30年度 目標値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値
	130人 (H31.3.31時点)				50人	90人	90人
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
				160人	164人		
	目標値の変更						
	KPI達成のために 行った事業(取り組み)	園の希望調査に対し、希望した場所以外で空きがあれば提案をしましたが、待機児童数はあまり減少していません。 R2年度は子どもの預かり施設を4か所増やしました。 R3年度は子どもの預かり施設の増築を2か所実施し、定員増を図りました。					
事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み	各年齢で必要な保育士数が異なり、0歳児の場合、児童3人につき保育士が1人必要となります。施設が整っており、受け入れが可能でも、慢性的な保育士不足が原因で待機児童数が増えています。まずは保育士の処遇改善が必要であると考えます。						
推進本部会議で出た意見等	なし						
有識者会議での外部評価	(質) 保育士の処遇改善が必要とあるが、現在市が実施していることは何かあるのか (答) 市独自で保育士の賃金を上げる事業を行い、近隣の市町と給与面に差が出ないように取り組んでいます。						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課 子育て支援課

基本目標(2) 子ども育みを支えるまち ～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～							
(ウ) 出産・子育て							
主な重要業績評価指標 (KPI)	新規の子どもの居場所(遊び場)設置数						
	積算方法	子どもの遊び場の確保数(新規設置)					
	基準値	H29年度 目標値	H30年度 目標値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値
	新規				累計1か所	0か所	累計2か所
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
				累計1か所	0か所		
	目標値の変更						
	KPI達成のために 行った事業(取り組み)	R3年度に子育て支援課にて、未就園児の親子を対象に、イベントなどを通して園内の雰囲気や体験できる支援センターの増設を検討しましたが、新規の設置には至りませんでした。					
	事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み	子育て支援拠点としては、引き続き市内の園に声かけをしていきますが、園の預かり施設とは別に保育士が必要となるため、保育士不足が課題となります。また、全学年を対象にした遊び場の設置には、子育て支援課だけでなく他課との協議が必要です。他課での遊び場の設置を含め、目標値は2か所とします。					
	推進本部会議で出た意見等	なし					
有識者会議での外部評価	意見なし						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課 子ども支援課

基本目標(2) 子ども育みを支えるまち ～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～							
(ウ) 出産・子育て							
主な重要業績評価指標 (KPI)	ファミリーサポートセンター登録者数						
	積算方法	子育ての支援を受けたい会員と子育ての支援を行いたい会員の登録者数の総計					
	基準値	H29年度 目標値	H30年度 目標値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値
	212人 (H30年度)				累計500名	累計450名	累計550名
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
		累計56名	累計212名	累計376名	累計401名	累計478名	
	目標値の変更						
KPI達成のために 行った事業(取り組み)	R3年度新規の登録者は77名(受けたい:54名、行いたい:23名)支援を受ける会員、行う会員ともに利用した際はアンケートをとっており、前年度に引き続き満足度は高いです。また支援を行う会員に対しては、毎回報告書を作成してもらっています。検診等でチラシを配布する、市報や市の公式LINEに載せる、子どもと関わるのが好きな人(子育てマイスターや学童の関係者等)に直接電話をすることといった周知を引き続き行いました。						
事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み	支援を行う会員は、94名の登録がありますが、活動できる会員は20名ほどしかいません。今後会員数を増やすにあたって、支援を受ける会員が増えてきた際に対応できないことがないように、日中対応が可能な会員を増やしていく必要があります。そのため、仕事を退職した人への声かけをより積極的に行うよう検討しています。						
推進本部会議で出た意見等	なし						
有識者会議での外部評価	意見なし						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課 子ども支援課

基本目標(2) 子ども育みを支えるまち ～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～							
(ウ) 出産・子育て							
主な重要業績評価指標 (KPI)	乳児家庭全戸訪問件数の割合						
	積算方法	出生数に対する訪問数の割合					
	基準値	H29年度 目標値	H30年度 目標値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値
	99% (H30年度)				100%	99%	100%
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
		99%	99%	102%	84%	95.2%	
	目標値の変更						
	KPI達成のために 行った事業(取組み)	525件中500件を実際に訪問しました。新型コロナウイルス感染症の影響で残りの約5%は直接訪問することが難しく、電話で聞き取りを行いました。 訪問についてのアンケートを4か月健診時とっており、9割以上の人は満足と回答がありました。					
事業の今後の課題や今後 必要と考える取組み	電話での聞き取りでは、乳児の状態など把握しきれないこともあるため、実際に訪問することが望ましいです。来年度も感染症により訪問が難しい場合は、引き続き4か月健診等で乳児の様子を實際にみて、電話で聞き取りした内容と相違がないか等確認します。						
推進本部会議で出た意見等	なし						
有識者会議での外部評価	意見なし						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課 学校管理課・子ども支援課

基本目標(2) 子ども育みを支えるまち ～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～							
(エ)就労支援							
主な重要業績評価指標 (KPI)	子どもの預かり制度の利用者数						
	積算方法	アンファン利用者、児童クラブ利用者 アンファン:R2 991人 R3 200人 R4 200人 R5 200人 R6 200人 児童クラブ:R2 13,008人 R3 13,488人 R4 12,000人 R5 12,000人 R6 12,000人					
	基準値	H29年度 目標値	H30年度 目標値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値
	12,472人 (H30年度)				13,999人	13,688人	12,200人
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
		11,701人	12,472人	13,105人	11,724人	11,071人	
	目標値の変更	アンファン利用者数R4 200人、R5 200人、R6 200人に変更 児童クラブ利用者数R4 12,000人、R5 12,000人、R6 12,000人に変更					
	KPI達成のために 行った事業(取り組み)	【学校管理課】利用者数11,007人 25施設の運用を民間に委託し、民間のノウハウを活用しました。 施設によっては、イベントなどを実施している所もあり、利用者からは好評でした。			【子ども支援課】利用者数64人 新規で入園する児童に対してチラシを配布し、制度の周知を行いました。 新型コロナウイルス感染症の影響で8-9月は閉所していました。		
事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み	【学校管理課】 ・利用者に対し無記名でアンケートを行っています。各施設によりサービス内容に差があるため、全施設で同程度のサービスを提供し、利用者数の増加を目指す必要があります。 ・サービスの質の向上のためにも、アンケート結果を、事業者と共有する必要がありますが、その共有の仕方などの課題があります。 ・基本的には、校区ごとに通う施設が決まるため、受け入れ人数に対し希望者が多かったり少なかったりと、偏りがあります。希望者が多く待機児童がいた場合も、別校区の施設に通うことは難しく、利用者数を増やすことができないことも課題です。			【子ども支援課】 施設利用の際は予約を前日までにし、医師の診断書が必要となるため、当日の急な利用は難しいです。また原因不明の感染症の場合は利用ができません。 引き続き制度の周知を行い、困ったときに頼れる施設の一つとして知ってもらうことが重要であると考えます。			
推進本部会議で出た意見等	なし						
有識者会議での外部評価	(児童クラブについて) 同時入所であれば、2人目以降は利用料が半額などの補助があるが、それ以外は2人目以降も全額となっている。同時入所でない場合も2人目以降は半額という補助などがあれば、利用数も増えるのではないかと						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課 商業観光課

基本目標(3) 学びが仕事へ、仕事子どもたちの学びへつながるまち ～地方における安定した雇用を創出する～							
(イ) 就労・創業支援							
主な重要業績評価指標 (KPI)	起業相談件数						
	積算方法	市役所及び商工会議所への相談件数の合計(累計値)					
	基準値	H29年度 目標値	H30年度 目標値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値
	69件 (H30年度)	/	/	/	60件 (初年度)	累計120件 (内60件)	累計180件 (内60件)
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
		累計48件	累計69件	累計71件	9件 (初年度)	累計25件 (内16件)	
	目標値の変更						
KPI達成のために 行った事業(取り組み)	新型コロナウイルス感染症の影響で相談件数は減少していますが、相談者16人のうち11人(男:5人、女:6人)が起業しました。主な業種の内訳として飲食関係(パン屋、その他)、花屋などがありました。相談は、商工会議所で経営指導員5名、補助員2名の7名で随時受け付けています。(平日8:30~17:00) 起業セミナーを開催し、参加者に対し相談受付の周知を行いました。						
事業の今後の課題や今後 必要と考える取り組み	相談受付の周知方法が難しいことが課題です。(現時点では市報とホームページとセミナーでの紹介のみ) 今後は周知方法を増やし、相談数増加につなげる必要があると考えます。						
推進本部会議で出た意見等	なし						
有識者会議での外部評価	全国的にもそうであるが、行橋市内でも新型コロナウイルス感染症の影響で起業数が少なくなっているということが改めてわかったので、各団体としても市と連携して施策の共有などを行ってきたい。						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課 農林水産課・商業観光課

基本目標(3) 学びが仕事へ、仕事が子どもたちの学びへつながるまち ～地方における安定した雇用を創出する～							
(ウ)農産物・水産物の開発・高付加価値化							
主な重要業績評価指標 (KPI)	農林水産業の新規の従事者数						
	積算方法	「ゆくはしブランド」の商品に携わる新規の従事者数(累計値)					
	基準値	H29年度 目標値	H30年度 目標値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値
	15人 (H30年度)				累計16人 (年度内1人)	累計16人 (年度内1人)	累計16人 (年度内1人)
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
		累計3人	累計15人	累計15人	累計15人	累計15人 (年度内0人)	
	目標値の変更						
KPI達成のために 行った事業(取り組み)	既存商品のPR活動を行い、販売促進に繋げるよう取り組みましたが、コロナ禍の影響もあり、各売り場への集客が難しい状況でした。そのような中、新規に従業員を雇用することが各事業者ではできませんでした。						
事業の今後の課題や今後 必要と考える取り組み	従業員の雇用数を増やすためには、「ゆくはしブランド」商品の売上が大きく増加する必要があり、地域内でヒット商品となるような仕掛けづくりが必要となってきます。今後はPR活動に加えたメディア露出をどのように行っていくか検討していきます。						
推進本部会議で出た意見等	なし						
有識者会議での外部評価	意見なし						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課 農林水産課

基本目標(3) 学びが仕事へ、仕事子どもたちの学びへつながるまち ～地方における安定した雇用を創出する～							
(ウ)農産物・水産物の開発・高付加価値化							
主な重要業績評価指標 (KPI)	行橋市魚市場の取扱量						
	積算方法	公設卸売市場の年間取扱量 第5次行橋市総合計画の目標値ベースを採用					
	基準値	H29年度 目標値	H30年度 目標値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値
	1,484トン (H30年度)				1,850トン	1,400トン	1,500トン
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
		1,453トン	1,484トン	1,838トン	1,140トン	1,415トン	
	目標値の変更						
	KPI達成のために 行った事業(取り組み)	魚市場の毎月の報告で実績を出しています。新型コロナウイルス感染症の影響で買取が減少していましたが、今年度は落ち着いてきたことにより、取扱量も増加しました。					
事業の今後の課題や今後 必要と考える取り組み	全国的に不漁が続いていますが、取扱可能なものにおいては、引き続き販路拡大により取扱量を増やしていきたいと考えています。						
推進本部会議で出た意見等	なし						
有識者会議での外部評価	意見なし						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課 商業観光課・農林水産課

基本目標(3) 学びが仕事へ、仕事子どもたちの学びへつながるまち ～地方における安定した雇用を創出する～							
(ウ)農産物・水産物の開発・高付加価値化							
主な重要業績評価指標 (KPI)	水産加工品(牡蠣)の売上						
	積算方法	加工品開発した牡蠣の年間の売上高					
	基準値	H29年度 目標値	H30年度 目標値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値
	600千円 (H30年度)				1,000千円	800千円	1,000千円
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
		0千円	600千円	800千円	560千円	1,700千円	
	目標値の変更						
KPI達成のために 行った事業(取り組み)	商品PRとしては、市観光ポータルサイトや観光協会でのPR活動を行いました。 その他、販売イベントで消費者に対して、販売促進活動を実施しました。京築マルシェはゆめタウンで行いましたが、大変好評で、今後も引き続き年数回程度行いたいとゆめタウンから申し出がっております。						
事業の今後の課題や今後 必要と考える取り組み	製造にかかるコストが高く、次期販売分の製造について着手が見通せない状況です。 今後は行橋市内の牡蠣小屋で販売している既存商品(佃煮、マリネ、フライ等)の売上をKPIとして含めるかについて検討します。						
推進本部会議で出た意見等	なし						
有識者会議での外部評価	意見なし						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課

秘書課

基本目標(4) 地域を支えあい、交流しあうまち～時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する～							
(ウ) 共助社会							
主な重要業績評価指標 (KPI)	市ホームページ等の広報閲覧数						
	積算方法	①市ホームページ閲覧数の月平均 ②市内からのホームページアクセス割合 ③行橋市公式Facebook、Instagramのフォロワー数、LINEの登録者数					
	基準値	H29年度 目標値	H30年度 目標値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値
	新規				②市内割合 8% ③累計6,000 件	①406,270PV ②市内割合11.97% ③累計18,375件	①460,000PV ②累計30,000件
					①433,309PV ②市内割合 10.56% ③累計14,206 件	①444,685PV ③累計25,893 件	
	目標値の変更	市内からのアクセス割合を出すことが不可能だったため、令和3年度実績値から削除しています。					
	KPI達成のために 行った事業(取り組み)	①今後の課題等を踏まえ、市HPのリニューアル予算を補正計上し受託者を選出しました。 ③地域のお店に自発的に取材に行きInstagramで紹介しました。掲載する写真は撮り方や加工を研究し、見映えするようにしています。また、担当課にイベントの予定があれば提出してもらいInstagramやLINEのタイムラインで周知を行いました。					
事業の今後の課題や今後 必要と考える取り組み	高度化・多様化する閲覧者のニーズ、利用しやすさの向上への対応が求められるなか、管理・運営が困難な状況となっています。また、市HP内のカテゴリ分類が適切に管理されておらず、閲覧者から分かりにくいなど様々な意見が寄せられており、抜本的な対応が必要不可欠であり、かつサイト構成やシステムの課題も散見されます。住民のニーズを把握し、本市に対して興味や関心、親しみを持ってもらえるコンテンツを増やし、新しいソーシャルメディアへの対応が必要であると考えます。						
推進本部会議で出た意見等	なし						
有識者会議での外部評価	(公式LINEについて) 1. (質)登録人数は何人か？ (答)R4. 4.1時点では、20,599人です。そのうちブロック数が約1300件ほどですので、約19,000人の方にはLINEによる情報提供を活用いただいているということになります。登録者の男女比は、(男:女)=(4:6)で、そのうち50代以上の女性が24%、50代以上の男性が16.8%となっています。 2. 若い世代だけでなく、幅広い世代が登録しているようなので、今後も防災などの情報はもちろん、その他の分野での機能を増やしてみてもいいのではないかとと思う。						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課 総合政策課

基本目標(4) 地域を支えあい、交流しあうまち ～時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する～							
(ウ)共助社会							
主な重要業績評価指標 (KPI)	多言語対応型生活・住環境アプリダウンロード数						
	積算方法	R1に開発した多言語対応型生活・住環境アプリのダウンロード数 (日本人・外国人問わず)					
	基準値	H29年度 目標値	H30年度 目標値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値
	新規				100件	累計209件 (50件)	累計1321件 (100件)
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
					累計159件	累計1221件 (1062件)	
	目標値の変更						
KPI達成のために 行った事業(取り組み)	新たなコンテンツとして計画通り、ごみカレンダー機能(お知らせ機能付)を追加しました。また、11月に行橋市公式LINEよりアプリの広報を行ったことにより多くの方にダウンロードしてもらった形となり件数が増えました。						
事業の今後の課題や今後 必要と考える取り組み	行橋市公式LINEの登録者数が多いため、効率的に広報を行えたと考えます。今後も同様の形などで広報が行えるよう検討していきます。また、今後新たに追加する機能として、住民からの投稿機能をアプリに持たせることを検討しています。掲示版形式で、道路陥没箇所や危険な箇所を撮影した写真とともに投稿する機能で、所管課と協議を行い検討していきます。						
推進本部会議で出た意見等	なし						
有識者会議での外部評価	意見なし						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課 介護保険課

基本目標(4) 地域を支えあい、交流しあうまち ～時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する～							
(ウ)共助社会							
主な重要業績評価指標 (KPI)	見守りの連携企業数						
	積算方法	見守りの企業連携数の累計値					
	基準値	H29年度 目標値	H30年度 目標値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値
	9団体 (H30年度)				累計 11団体 (内1団体)	累計 12団体 (内1団体)	累計 13団体 (内2団体)
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
		累計 8団体	累計 9団体	累計 10団体	累計 11団体 (内1団体)	累計 11団体 (内0団体)	
	目標値の変更						
	KPI達成のために 行った事業(取り組み)	連携可能な企業の調査をしましたが、実績にはつながりませんでした。 他の分野で「配食サービス」があり、連携企業としての実績値とはなりません が、見守りの機能を持ったサービスは提供されています。					
事業の今後の課題や今 後必要と考える取り組み	介護保険課として関わりのある企業のみ連携についての話ができるため、積 極的に話を進め、連携企業数を引き続き増やせるよう取り組んでいきます。同 時に、今現在連携している企業に対しても、普段の業務に支障がない程度に 見守りサービスの向上を検討してもらえよう話をしていく必要があると考え ています。						
推進本部会議で出た意見等	なし						
有識者会議での外部評価	意見なし						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課 生涯学習課

基本目標(4) 地域を支えあい、交流しあうまち ～時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する～							
(ウ) 共助社会							
主な重要業績評価指標 (KPI)	樺市地域交流センター 年間施設利用者数						
	積算方法	公民館機能部分の利用者数と小売コーナー及びカフェの利用者数の合計値					
	基準値	H29年度 目標値	H30年度 目標値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値
	20,612人 (H30年度)				24,000人	21,400人	21,400人
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
			20,612人	23,872人	7,457人	12,449人	
	目標値の変更						
KPI達成のために 行った事業(取り組み)	令和3年度より指定管理者制度を導入し、地域住民により組織された法人が管理することとなりました。その結果、クリスマスイルミネーション、節分イベント、カフェメニューの開発等、指定管理者制度のメリットを生かす施設の管理運営ができました。利用者数については、令和2年度よりも大幅に伸びましたが、コロナ禍により目標値には及びませんでした。						
事業の今後の課題や今後 必要と考える取り組み	指定管理者制度の導入から2年目を迎え、指導・助言を要することもあるため、今後は自立した管理運営を行えるようこれまで同様に連携を図っていきます。						
推進本部会議で出た意見等	なし						
有識者会議での外部評価	意見なし						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課 防災危機管理室

基本目標(4) 地域を支えあい、交流しあうまち ～時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する～							
(ウ)共助社会							
主な重要業績評価指標 (KPI)	防災知識の普及啓発						
	積算方法	年間での啓発活動開催回数の累計値					
	基準値	H29年度 目標値	H30年度 目標値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値
	新規				20回	20回	20回
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
				10回	14回		
	目標値の変更						
KPI達成のために 行った事業(取り組み)	令和3年度も新型コロナのため開催できなかった講話等がありましたが、感染対策をしっかりと行ったうえで講話を開催するなどを行い、前年度実績を上回ることはできました。講話においては、平時や発災前に準備できることを特に意識して伝えようとしています。具体的には、災害用グッズの備蓄や避難判断のための情報収集が適切にできることが重要であることから、インターネットやSNS、テレビのdボタンなど様々な方法で情報収集できることを伝えており、今後においても引き続き継続していきます。						
事業の今後の課題や今後 必要と考える取り組み	新型コロナウイルス感染症対策を継続しつつ、各種団体に対して幅広く防災講和等の機会を提供していきたいと考えます。その中で特に市内の小中学校に対して、防災意識向上を図るための対応を強化していきます。						
推進本部会議で出た意見等	なし						
有識者会議での外部評価	防災無線で災害などの情報を取得している人は、周囲の雑音で聞き取りにくい場合がある →(答)その様な方達に対しても、他の方法(インターネット、SNS、テレビのdボタン)でも情報提供をしていることについて引き続き周知をしていきたいと考えます。						